



先々週例会報告

第1222回例会 1月18日(木) 於: ホテル日航関西空港1階「鶴の間」

3クラブ合同新年例会 ホストクラブ: 泉佐野ロータリークラブ

〈例会〉18:00～

点鐘 泉佐野RC会長 吉田 陽彦 君
国歌斉唱 「君が代」
ロータリーソング 「奉仕の理想」
本日の歌 「明日があるさ」
泉佐野RCソングリーダーズ

〈懇親会〉18:30～

【乾杯発声挨拶】
関西国際空港RC会長 宮内 良平 君
新春に聴く琴と尺八～A HAPPY NEW WAVE～
*春の海
*アメイジング・グレイス
*星に願いを 他



【お開き(閉会挨拶)】
泉佐野RC会長エレクト 南 慎一 君
ロータリーソング 「手に手つないで」

【会長挨拶】

関西国際空港RC会長 宮内 良平 君
泉佐野RC会長 吉田 陽彦 君

【来賓挨拶】

泉佐野市長 千代松 大耕 様 (代読)
田尻町長 栗山 美政 様

泉佐野RC会長 吉田 陽彦 君

新年明けまして御目出度うございます。
今回のホストの泉佐野ロータリークラブ会長の吉田です。
本日は泉佐野市 真瀬副市長並びに田尻町 栗山町長におかれましては公私共に御忙しい中御出席を賜り有難うございます。
りんくう泉佐野ロータリークラブはご欠席ですが、継続は力なりという観点から3クラブ合同新年例会を開催させて頂きました。
私の好きな言葉「少数精鋭」で本日は行きたいと思ひます。皆様方にはよく食べ、よく飲み、懇親を深め、英気を養って下さい。
終わりになりますが、皆様方のご多幸とご健勝を祈念致しまして挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願ひ致します。

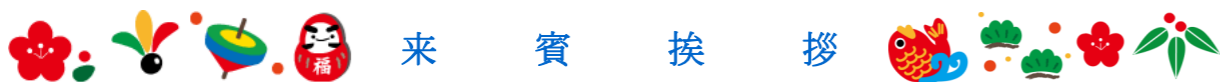


関西国際空港RC会長 宮内 良平 君

新年あけましておめでとうございます。ご来賓の皆様におかれましては、お忙しい中お越しいただきまして有難うございます。
私も今年度、初めてロータリークラブの会長を務めさせて頂いておりますが、あちこちから新年行事の招待状が届きました。そこへ行く度に市長さん、町長さん達がお越しになっている。お忙しいなあと思ひます。
今年は元旦から大変な事が続きました。能登半島地震、翌日は羽田の事故、そして派閥のキックバック問題。元旦から本日まで、このニュースばかりです。総理大臣にとってのお正月は無かったのでは？と思ひます。



私が子供の頃のお正月は、元旦は小学校に行ったんです。大きな盆栽が台の上に置いてありまして、後ろには日の丸の旗。君が代を斉唱して、「年の始めの ためしとて」が歌い出しの『一月一日』を全員で歌ったんです。この頃はそんな歌殆ど聞きませんね。
皆さんはどうか存じ上げませんが、私が子供の頃は「一年の計は元旦にあり」と言われ、無駄遣いをするな、家にいて家族で元旦を祝うものである、と言われていました。
年末は商店街がごったがえすほど混雑し、除夜の鐘が鳴ると町がシーンと静まり返ったものです。店も工場も全部休み。一月一日はそういうものでした。今は全然違いますね。
私の息子も孫を連れてどこかに出かけていきます。
今年は大変なお正月となり、行事に出かけてもまずは黙祷から始まりました。
こういうお正月は繰り返してほしくないなと思ひます。今年も宜しくお願ひ申し上げます。



泉佐野市長 千代松 大耕 様(代読・真瀬副市長)

新春3ロータリークラブ合同例会のご盛会、誠にありがとうございます。本来でございましたら、新年のお祝いのご挨拶を申し上げるべきところではございますが、本年1月1日発生の令和6年能登半島地震により、多くの方が犠牲になられ、今もなお、多くの行方不明者や避難所から自宅に帰れない方々がいる厳しい状況が続いておりますことから、新年のお祝いの言葉は差し控えさせていただきますことをご容赦ください。



重ねて、この度の災害によりお亡くなりになりました皆様のご冥福をお祈り致しますとともに、被害に遭われました皆様に心からのお見舞いを申し上げます。

さて、ロータリークラブ会員の皆様方におかれましては、平素より泉佐野市の発展に多大なるお力添えを賜っておりますことに感謝いたしております。

また、昨年は国際ロータリー第2640地区の地区大会を泉佐野市で開催いただきましたことを、大変光栄に存しております。

3ロータリークラブの皆様が、日頃から取り組んでおられます社会貢献活動などの実績が後ろ盾となったものと、当日参加させていただき、皆様が表彰を受けている姿を拝見し、強く感じた次第であります。

今後とも皆様には地域の発展のために、お力添えを賜りますようお願い致します。

さて、元日より地元ケーブルテレビの番組内で、2024年にかかる想いを漢字で表現してくださいという質問があり、「翔(しょう) 大谷翔平選手の翔の文字」をお答えしました。

市町村における海外との友好提携都市数で日本一であります泉佐野市が今年30周年を迎えます関西国際空港から世界各地に飛ばたくことにより、コロナ禍で停滞していた国際交流をあらためて深めていく一年として参りたいと考えております。

また、皆様から注目いただいております、ご心配もおかけしております、ふるさと納税におきましては、アメリカのメジャーリーグで活躍している大谷翔平選手の二刀流のように、本市のふるさと納税も個人からのふるさと納税に加え、企業版ふるさと納税でも結果をだせるように努力し、二刀流ふるさと納税で税外収入の確保に努め、市民の皆様が明るく笑顔で過ごせるように様々な施策を展開して参る所存でございますので、3ロータリークラブの皆様におかれましては引き続き、ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、3ロータリークラブ様の今後益々のご発展と、本日ここにお集まりの皆様のご健勝並びに更なるご活躍、そして被災地の一日も早い復旧復興をご祈念申し上げ、泉佐野市を代表としてのご挨拶とさせていただきます。

田尻町長 栗山 美政 様

田尻町長 栗山美政です。

今年もお招きにあずかり有難うございます。

また、日頃は田尻町の行政にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年11月の選挙で3回目の当選を頂き、3期目を迎えさせていただきました。

これもひとえに、今日ご出席のロータリーの皆様方のご支援、ご協力のおかげだと改めて感謝申し上げます。有難うございました。

今年年頭、年賀状には龍が太陽に向かって昇っている縁起のいいイラストを描いて送らせていただいたのですが、元旦からビックリするようなニュースが飛び込んできました。

震度7という「能登半島地震」、また、その翌日2日には羽田空港で日航機と海上保安機が衝突するという大事故が起きました。昇り龍が暴れ龍になってしまい、大変な令和6年の幕開けになりました。そんな中、災害や事故から学ぶ教訓は数多くあります。

高齢化率が50%超の地域…。若い動ける人が少ない。避難所の運営も大変です。やはり、地域には「若い人」「若い力」が必要です。これから職員も派遣して、被災地応援と災害対応など学んでいきたいと思っています。



羽田の日航機事故も、379人の乗員・乗客が全員無事脱出できたのは「奇跡」だと報道されています。機長やパーサーはじめ、キャビンアテンダントのリーダーシップや的確な判断。「荷物を持たないで、順序良く、慌てないで」更に、それに従った乗客の行動。あのJAL便が、もし国際線だったなら脱出口に乗客は殺到するなど、大きな混乱になったのでは?と想像します。

日頃から秩序を守る、自分勝手な行動を取らないなど、日本人の特性が存分に発揮された行動が、被害を最小に食い止めたのではないのでしょうか。

暗いニュースが多かった年が明け、今年こそ、社会を明るく元気づけてくれる出来事が数多く届くことを期待しています。

私は「たじり8000人の大家族」をスローガンに掲げ、人とひとがつながり助け合い、おせっかいなおばちゃんがいっぱいいる、高齢者の人たちが笑顔で集う場所がある、8000人の住民全員が、大家族のようにつながっている…。そんな田尻町、そんなまちづくりをめざして取り組んできました。それが、災害時にも強い、安心して住み続けられる町につながる。と信じています。

今年も、人と人が寄り添い、災害に強いまちづくりを推し進めます。どうか皆様にも温かく見守っていただければ、有難く存じます。

最後になりましたが、今年1年…皆様方のご健勝と幸せを願い、また、令和6年が皆様にとって更り多き年になりますようにご祈念申し上げ、私の拙い話を閉めさせていただきます。

